



# WEEKLY REPORT

## 高山中央ロータリークラブ

2018～2019年度 高山中央RC会長テーマ

「凡事徹底」～友情と情熱と行動と～



インスピレーションになるろ

◇ 会長 高原 清人 ◇ 幹事 岩本 正樹 ◇ 会報委員長 道下 利一 ◇ 会報当番 新井 信秀

創立 1991年5月20日

事務局 高山市本町1-2 (飛騨信用組合本町サテライト出張所3階)  
TEL:0577-36-0730 / FAX:0577-36-1488

例会場 ひだホテルプラザ3F / TEL: 0577-33-4600

例会日 毎週月曜日 PM12:30～

H P <http://www.takayamacrc.jp/>

### 出席報告

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 1205回	56名	55名	46名		83.64%
前々回 1203回	56名	55名	42名	4名	83.64%

- 点 鐘 会 長 高 原 清 人
- ロータリーソング 奉仕の理想
- 四つのテスト
- 会長の時間 会 長 高 原 清 人

皆さんこんにちは、本日4月1日先ほど新しい元号が発表され、「令和」となりました。出典は万葉集だということがあります。大化より数えて248番目の元号となるそうです。元号込められた意味は安部首相の談話を聞いておりませんので判りませんが、いずれにしても日本国にも、我々国民にも良い元号であると思いますので、政治も、経済も新元号にふさわしい始まりを期待するものであります。

新元号に変わる年に会長をさせて頂けていることは、大変名誉なことと感謝いたしております。

さて、先般岐阜県議会議員選挙が行われました。高山市は無投票となり、当クラブ会員の高殿尚さんは3期目をみごと当選されました。3期目ともなりますと色々真価が問われる時だと思いますが、是非地元のために変わらず頑張って頂きたいと願うものであります。

本日は社会奉仕委員会の担当例会で、今井委員長を始め委員会の皆様にはお世話になります。今日は西倉副市長さんに卓話をしていただきます。

本年度「地域連携」を模索する上で、社会奉仕への取り組みの例として、前回例会においてお話をさせて頂きました。言うまでも無く奉仕の第三部門である社会奉仕は、クラブの所在地域内または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら会員が行うさまざまな取り組みから成るものです。

即ち我々ロータリアンが、地域の人びとの暮らしを豊かにし、より良い社会づくりに貢献することが社会奉仕といわれております。



当クラブも「出前講座」を始めとし、地区補助金事業、ポリオ撲滅募金、清掃活動、植樹等と、様々な事業に真摯に取り組み汗を流し、地域に貢献してきた実績があります。然しながら残念なことに、RCがどんな団体で、どんな活動をしているのかを十分に理解している人は多くありません。RCの奉仕は人々の生活、そして地域を変えるものであります。真に変化を生み出す奉仕をもっと効果的に実現するために私達は、クラブでの自分の役割であるとか、地域におけるRCの役割を、客観的に見直すことが必要であります。

そこで、まずは我々の暮らす高山市を客観的に見つめ直そうと考え、今井委員長に無理なお願いし本日の例会となりました。

高山市がどのようなビジョンを思い描き、どのように行政に取り組んでいるのか、または今後の課題などをお聞きすることで、我々RCが行政と協力し合うことが出来ないか、または行政を通し地域の人々に対し新たなニーズを掘り起こし、やがて社会奉仕活動へ繋がってゆくヒントとなるような例会としたいのです。

例えばかつて、ビッグアリーナ竣工の折に室内の得点ボードを当クラブが寄贈したように、間もなく創立30周年を迎える我々にとっても、記念事業のヒントとなるようなキーワードが隠れているかもしれません、またはRCが取り組むべき奉仕活動へのきっかけとなるかも知れません、んなお話が聞けることを期待しております。

元より、「地域連携」については一朝一夕で成し遂げることは出来ません。幸いなことに当クラブには、西倉副市長と、高殿県議がおいでになります。市政、県政どちらの情報も身近に感ずることが出来る環境であり使わない手はありません。

連携するのは行政かもしれませんし、他の奉仕団体かもしれませんし、またはしないかもしれません。或いはRC独自のプログラムとなるかもしれません。

何れにしても我々はロータリアンとしてグローバルな視点

で、ロータリーをより深く理解し、常に地域を見つめ人々の暮らしを豊かにし、より良い社会づくりに貢献できるよう議論を積み重ね、行動に移していく努力をしていかなければならないと考えております。

## ● 幹事報告 幹事 岩本 正樹

### ■ RI 本部より

- ・ザ・ロータリアン誌

### ■ 国際ロータリー第 2630 地区ガバナー事務所より

- ・「学友だより」
- ・青少年育成研修セミナー開催のご案内

日時：5月12日（日）10:00～11:30

会場：ホテルグランヴェール岐山

出席者：次期青少年奉仕委員長

登録料：1,000円

- ・次期会員増強研修セミナー開催のご案内

日時：5月25日（土）11:00～15:30

会場：岐阜グランドホテル

出席者：次期各会長・幹事・会員増強委員長・入会3年未満の新会員

登録料：8,000円

- ・2020 - 21 年夏季派遣学生募集のご案内

### ■ 下呂ロータリークラブより

- ・例会開催曜日変更について

火曜日（変更前）から 月曜日（変更後）へ 2019年7月より

### ■ 本巣ロータリーアクトクラブより

- ・「第41回地区年次大会」登録のご案内

日時：5月25日（土）13:30～17:30

会場：大垣フォーラムホテル

### ■ 米山梅吉記念館会より

- ・館報 2019 春号
- ・賛助会ご入会のお祝い
- ・春季例祭のご案内 4月20日（土）14:00～
- ・創立50周年記念式典開催のご案内 9月14日（土）
- ・米山梅吉ものがたり 記念出版予約受付開始のご案内

### ■ ロータリーの友事務所より

- ・「ロータリーの友」電子版のご案内

## ◀ 会報 ▶

- ・高山RC

## ● お祝い



## ● 社会奉仕委員会

委員長 今井 俊治

今日の例会は、当クラブ会員で高山市副市長の西倉良介さんに卓話をさせていただきます。入会の時に自己紹介をしてもらって以来、こと副市長の立場からのお話をいただく機会がありませんでしたのでこの機会に卓話をいただければと思います。



特に今年度は会長の強い希望で「クラブと行政の連携について」考えるために当クラブ30周年の記念事業との関わりだけでなく高山市の現状をお伺いする中で連携のためのヒントをいただければと考えています。

年度初めのお忙しい時に時間を調整していただきありがとうございます。

本日はよろしく願いいたします。

## 卓話

### 高山市第八次総合計画等の行政の現状と課題について

高山市副市長 西倉 良介 会員



人口減少社会において将来的に高山市が活力ある町であり続けるためにはマンパワーが不可欠です。そのためには、この地で生まれ育った若者を担い手として引き留めること、他の地から新たに人を呼び込むこと、さらにはこの地で働ける地場産業があることが必須の要因であり、それらを導き出す源が「魅力溢れるまち」だと考えます。

今回はそのまちづくりについて、高山市の現状にあける主な課題と取り組みをお話しします。その中で、中央RCの皆さんにも関わりを持ってもらいたいと考えております。

- ・人口減少…現在89千人の人口が2045年には65千人、労働人口も55%から47%に減ると推計されてます。地元高校生に対してアンケートをとった結果でも卒業後に市外に進学した場合、その79%の生徒がそのまま市外での就職を希望しています。市外に就職先を求める原因は、所得水準の低さも大きな要因だと考えてします。県の資料では高山市は県下21市中13番目と下位に位置しています。働き甲斐



は給料の額だけで決まるものではありませんが、給料が高いことは働く喜びにつながります。所得水準を引き上げるためには地場産業を更に活性化させることが必要と考えます。

- ・地場産業の発展…過去の推移をみると好調な産業も一部にみられますが、一般的に市内総生産額は伸び悩んでいます。観光客の増加に合わせてホテル建設も盛んで、高山地域の8400人/日のキャパが1千人ほど伸びる見込みですが、外部資本によるものも多く地元事業者に便益が及ばないもの場合もあります。

産業連関表の分析では、市内生産額は6209億円、最終需要は8892億円で、市外から買った分と市外へ打った分の収支(市際収支)は99億円の赤字とされています。今後、外貨獲得、付加価値の創出、雇用吸収力の向上、域内資金循環を促進させるため、官民で具体的な施策を練り上げていく必要があります。

- ・まちの魅力創出…付加価値の創出という点では飛騨高山は多くの魅力ポイントを有しています。飛騨の匠をはじめとするモノづくりの技術レベルの高さ(ユネスコ無形文化遺産、日本遺産等)、日本一広い市域内の豊かな自然環境(ユネスコエコパーク、ジオパーク、木質バイオマスを始めとする自然エネルギー等)などなど。それらを飛騨高山のブランドとして体系づけ、さらにはストーリー(物語)性を持たせ発展させていくことが大事と考えています。

- ・官民連携…平成の市町村合併以降、市域には777の公共施設があります。これらの統廃合などを含む総合的なマネジメント、また地域の空き家等も地域資源の活用(若者等活動拠点整備施設等)という点で大事な要素と考えています。長々と述べましたが、これらの具体的な取り組みを、行政や市民だけでなく、地域、企業、大学、RCも含めた団体などがパートナーシップを強化して力強く推し進め、魅力ある町づくりを進めていきたいと考えています。

最後に個人的な要望としてのまとめですが、高山中央RCの皆さんに、

- ☆子どもたちに地場産業の魅力を伝える取り組み
- ☆賃金水準の向上につながる企業努力
- ☆地域資源等を活用した事業提案

以上を期待して終了させていただきます。ありがとうございました。



II.まちづくりの取組み  
⑬産業連関表の作成分析

- 外貨獲得の推進**  
 移輸出の多い産業の販路拡大、観光客の滞在時間の延伸や消費拡大  
 産業間・地域間の連携強化による市販(貿易)収支の改善
- 付加価値の創出**  
 新たな地域資源の発掘・磨きあげ、地域の優位性を活かした産業創出  
 新商品や新たなサービスの開発、イノベーションの促進
- 雇用吸収力の向上**  
 起業・創業の促進、ニーズ多様化などに対応できる経営体質づくり  
 円滑な事業継承の促進、人材不足の深刻化への対応
- 域内資金循環の促進**  
 市民の市内消費の促進、市内の新たな需要創出  
 原材料・サービス・資源・エネルギーの市内調達の促進

⇒ 官民の意見交換を踏まえ、  
具体的な施策等を練り上げ

III.まとめ

主な課題	対応する主な取組み
①人口減少、少子高齢化	協働のまちづくり 地方創生
②地場産業の発展	地方創生 産業連関表の作成分析
③まちの魅力創出	環境政策 ブランド戦略 ジオパーク・エコパーク 長瀬まちづくり刷新 高山駅周辺整備 まちの体験交流館
④官民連携・行政経営	公共施設総合管理計画 大学連携センター JCとの連携による政策検討 若者等活動拠点施設(仮称)の整備

中央RCに期待すること

- ☆ 子どもたちに地場産業の魅力を伝える
- ☆ 賃金水準の向上につながる企業努力
- ☆ 地域資源等を活用した事業提案

企

4月のお祝い

<会員誕生日>

松之木 映一	S 25年	4月 7日
劔田 廣喜	S 24年	4月18日
大原 誠	S 30年	4月18日
鷲塚 英雄	S 29年	4月26日


<夫人誕生日>

西倉 良介	淳子	4月 8日
-------	----	-------

<結婚記念日>

二木 公太郎	H 26年	4月 3日
下田 徳彦	H 11年	4月 4日
清水 幸平	S 56年	4月 5日
岩本 正樹	S 61年	4月 6日
橋本 修	S 49年	4月 7日
中田 学	H 4年	4月11日

おめでとうございます



◀ニコニコBOX▶

本日、新卒の若手が入社しました。これからの成長に期待と入社してくれたことに感謝してニコニコへ。ちなみに新入社員の父親は48歳で私と4歳しか違いません。  
高橋 厚生

先週は休ませて頂きました。出席が叶わないことが多いのですが出来る限り出席したいと思います。  
古橋 ひと実

3/30の土曜日に久しぶりに恵美寿の湯へ行ってきました。岩本さんに会えるのを楽しみにして行きましたが岩本さんは来ませんでした。なんかチョット淋しかったです。  
久々野 国良

